



# ぽれぽれしター ぽれぽれしター

第66号  
2026.02.01

## 理念

「人とよりそう ひらかれた病院」

### 病院基本方針

※安心・安全ながん医療を提供します  
※医療提携を進め、地域医療に貢献します  
※豊かな人間性を持った医療人の育成に努めます

## 診療案内

内科 外科 消化器内科 消化器外科  
脳神経外科 整形外科 耳鼻咽喉科  
泌尿器科 放射線科 婦人科  
歯科口腔外科

### 【診療受付時間】

平日 午前8:30～午後4:00  
土曜 午前8:30～正午

### 【診療時間】

平日 午前9:00～午後4:00  
土曜 午前9:00～正午

### 【外来の休診日】

日曜・祝日・年末年始

### 【面会時間】

正午～午後8時



## 当院は「病院機能評価」の審査合格を継続しています

当院は2007年の開院以来、「患者さんに安心して医療を受けていただける病院であること」を大切に、医療の質と安全性の向上に継続して取り組んできました。その取り組みの一つとして、2009年に第三者機関による「病院機能評価」を初めて受審し、認定を受けました。

病院機能評価とは、日本医療機能評価機構が実施している、全国共通の基準に基づく病院評価制度です。医療内容そのものだけでなく、患者さんへの説明や対応、安全管理、感染対策、医療事故防止の体制、職員教育、病院運営の仕組みなど、病院全体の「機能」が適切に整えられているかを、多角的・客観的に審査するものです。この評価は一度受ければ終わりというものではなく5年ごとに更新審査を受け、常に改善と見直しを重ねていくことが求められます。当院では初回認定後も、

2007年	当院開院
2009年	病院機能評価 初回認定
2014年	第2回更新審査 合格
2019年	第3回更新審査 合格
2025年	第4回更新審査 合格

2009年以降のすべての更新審査をクリアしてきました。そして昨年2025年11月には、4回目となる更新審査を受審し、無事に合格することができました。



日本医療機能評価機構評価者による現地調査のイメージ図

更新審査では、日常の診療が安全に行われているか、患者さんの権利が尊重されているか、職員間で情報共有が適切に行われているかなど、普段の医療現場の姿勢そのものが問われます。書類審査だけでなく、実際に評価調査者が2日間病院を訪れ、現場を確認し、職員へのヒアリングも行われます。そのため、認定の継続は、病院全体で地道な改善を積み重ねてきた結果といえます。

病院機能評価に合格していることは、医療の質と安全性について一定の水準を満たしていることを示す一つの目安です。しかし、私たちはこれを「ゴール」ではなく、

**「より良い医療を提供し続けるための通過点」と**考えています。

患者さんやご家族の声に耳を傾け、時代の変化や医療の進歩に対応しながら、これからも安心・安全で信頼される医療を提供できるよう、職員一同努めてまいります。今後とも、どうぞ安心して当院をご利用ください。



## Q1. 病院機能評価とは何ですか？

A. 病院機能評価とは、日本医療機能評価機構という第三者機関が、病院の医療の質や安全性、運営体制などを全国共通の基準で確認する制度です。診療内容だけでなく、患者さんへの説明や安全対策など、病院全体の取り組みが評価されます。

## Q2. 病院機能評価を受けていると、何が安心なのですか？

A. 医療事故を防ぐための仕組みや感染対策、患者さんへの説明体制などが、第三者の目で確認されている点です。「きちんとした体制で医療が行われているか」を客観的に評価されていることが、安心につながります。

## Q3. 一度合格すれば、ずっと有効なのですか？

A. いいえ。病院機能評価は5年ごとに更新審査があり、その都度、改善が続けられているかが確認されます。当院では開院後の初回受審以降、すべての更新審査に合格し、2025年11月に4回目の更新認定を受けました。

## Q4. 審査では、どのようなことを見られるのですか？

A. 書類だけでなく、実際の診療現場や院内の様子、職員への聞き取りなどが行われます。患者さんへの説明が分かりやすいか、安全に医療が提供されているかなど、日常の医療の姿勢そのものが確認されます。

## Q5. 評価に合格していれば、もう改善は必要ないのですか？

A. 合格は「終わり」ではなく、「より良い医療を続けるための通過点」と考えています。当院では、病院機能評価をきっかけに課題を見直し、患者さんにとってより安心して信頼できる医療を提供できるよう、継続して改善に取り組んでいます。

## 当院の医療を支える看護補助者のご紹介・・・特定技能者

近年、当院では医療現場を支える新たな人材として、**海外からの「特定技能者」**を受け入れており、現在11名が各部署で活躍しています。看護補助者として、病室の環境整備や物品の準備、患者さんの身の回りのお手伝いなどを、看護師の指示のもとで行っています。来日前には日本語や医療に関する基礎教育を受け、院内でも継続した指導とサポートを行っております。文化や言葉の違いはありますが、患者さんに寄り添い、誠実に業務に取り組む姿勢は当院の大切な仲間です。皆さまのご理解と温かいご支援をお願いいたします。



特定技能とは  
日本国内で深刻な人材不足の特定分野において、**即戦力**となる外国からの人材を受け入れるための**在留資格**です

編集後記：寒い日が続いています。  
感染症対策を行ない、お体には十分にお気をつけください。（若月）

発行者：中村に信（病院長）  
編集長：福西康修（放射）  
編集委員：村井祐子（医師）林志保（看護）日吉華代（看護）大橋香音（地域連携）  
藤尾美優（医事課）若月美月（放射）  
〒567-0085 茨木市彩都あさぎ7丁目2番18号  
Tel 072 (641) 6898 Fax 072 (641) 6097



このニュースレターご希望の方は総合受付・地下受付にお越し下さい

<https://www.saito-yukokai-hp.jp/news/pole/>  
「ほれほれ」はホームページからダウンロードできます！

医療法人友誼会 彩都友誼会病院